

③6 情報通信基盤整備の推進事業

企画部

実施主体：沖縄県

実施時期：令和元年度～令和3年度

＜50周年記念事業のテーマ＞

4 令和4年度に着工又は完成（一部完成）し、本県の新たな飛躍を展望する大型プロジェクト等を県民をはじめ県内外に周知し、利用を促進するとともに、本県経済社会の自律的な発展を推進する。

【事業内容等】

大東地区において、高度な情報通信技術の利活用環境の形成を図るため、沖縄本島と北大東島を結ぶ高速大容量の中継伝送路（海底光ケーブル）の整備を進めてきた。

【復帰50周年事業に位置付ける意義】

北大東村は、役場がある島としては、県内自治体で唯一海底光ケーブルが未接続であり、本事業により全ての自治体が沖縄本島と繋がることになる。

これにより、産業や教育、医療等の各分野において、ICT施策の展開が推進され、デジタル社会が進展することで、北大東村における産業の振興や定住条件の整備にも貢献する。

情報通信基盤の利活用を図るためには、北大東村民等へも情報発信を行う必要があることから、広報誌等への事業紹介や、同村民をはじめとする関係者による開通式典を開催し、本県の新たな飛躍を展望する大型プロジェクトとして、成果を県民をはじめ県内外に周知する。

